

ルールを守りましょう

昨年度の町田市のごみの最終処分状況をみると、市の埋立地に4795トン、日の出町の二ツ塚処分場に9269トン埋め立てられています。今年度からは市の埋立地が満杯になつたため、焼却灰等をすべて日の出町の埋立地へ運搬している状況です。しかし、日の出町の埋立地も今後14年ほどで満杯になる見込みで切迫した状況にあります。

こうした状態を打開するには、私たちは少しでもごみを出さない工夫をしなければいけません。例えば、使い捨て商品より詰め替え商品を選ぶ、買物は自分のバックを持ち、購入の際の過剰包装を断る、一度購入したものは大切に使い切る、捨てる前にリサイクルにまわせるかどうか考えるなど、私たちに

できることは少なくありません。今処理されているごみには、まだまだ多くの資源が含まれています。分別して資源の回収に出せば、焼かれて埋め立てられることもありません。また、資源として集められたものを質の良いリサイクル製品として再生させるためには、分別のルールを守りリサイクルの妨げにならない物を取り除くことが決め手となります。

急にごみを出さない生活を手としようと思つてもなかなか難しいのですが、少しでもごみを出さない工夫はできるはずです。ごみが少なくなれば焼却量も減り埋立地の延命もはかれます。小さな積み重ねがゆくゆくは私たちの生活を守ります。身近にできる資源の分別からはじめてみましょう。

カビン

ビンはビンなど、アルミカンはアルミカン、スチールカンは建築資材などにリサイクルされています。

資源とごみの出し方

2001年度版
を配布します
一般地区用はこの広報と一緒に配布します。今回配布するものは、2年間使用しますのでよく見られるところに掲示し活用して下さい。
なお、お手元のない場合は、市役所本庁・各市民センターの市民窓口においてありますので受け取り下さい。
プラスチック分別実施地区及び地域資源回収特別指定団体用は別途配布済みです。

古紙は4区分で分別回収しています

新聞(チラシ含む)
新聞などにリサイクルされています。

雑誌(書籍)
雑誌(書籍)紙

ダンボール
ダンボールなどにリサイクルされています。

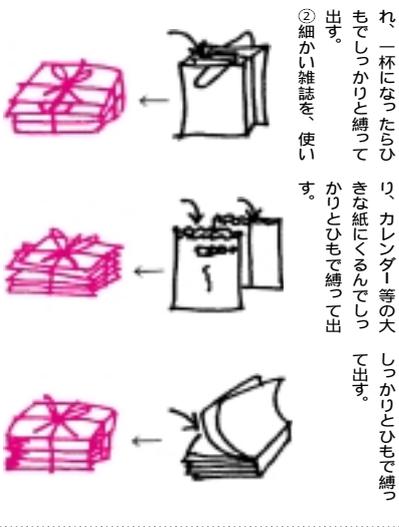
紙パック(飲料)
紙パック(飲料)紙

雑紙(ざつがみ)って?
新聞、雑誌、ダンボール、紙パック(飲料用以外の紙)のことです。例えばお菓子や食品の入っていた紙箱、包装紙、紙袋、トイレットペーパーやラップの中心、封筒、便せんはがき、名刺、卵の紙パック、カレンダー(紙製)などです。

出せるもの
飲料、食品用。

出せないもの
化粧ひんなど食品以外が入っていたもの(飲料、食品用以外のものは、燃やせないごみへ出して下さい)。

古紙の出し方



①紙袋などに雑誌を入れ、一杯になったらひもでしっかりと縛って出す。
②細かい雑誌を、使い終わった封筒に入れたら、カレンダー等の大きな紙にくるんでしっかりと縛って出す。
③雑誌の間にはさんで、しっかりと縛って出す。

プラスチックの分別と資源化

プラスチックの分別収集・資源化は、焼却することにより発生するダイオキシン対策として、また、事業者が再資源化の責任が課せられた容器包装リサイクル法に対応として計画し、市民が参加した廃棄物減量等推進審議会からの「プラスチックは燃やさず資源化することを目指す」という答申を受け、1999年4月から金森、小川、南つくし野、つくし野、鶴間の各一部の方のご協力をいたいたいで始めています。

その一部地域での実施は、全地域で円滑に実施するためのモデル実験として行われているものです。

市では全区域でのプラスチックの分別収集の準備を進めていますが、容器包装リサイクル法により集められたプラスチックを事業者が引き渡すためには、運送効率の問題が課題です。

市では、リサイクルできる衣料品(一部布類を含む)を「古着」という区分で分別回収しています。昨年度1年間の回収量は、729トンにものぼっています。集められた「古着」は主に中古衣料として東南アジアに輸出されるほか、工場で使用される「ウエス」や「反毛材」としてリサイクルされています。

しかし、これらの方法でもリサイクルできない古着がここ数年増加しており、それらは選別後にごみとして焼却されています。原因は安価な繊維から圧縮・結果して一時保管する施設が必要になります。そこで市では、用地の確保や収集体制の問題からリサイクル文化センター内に施設の建設を計画して、周辺地域にお住まいの皆さんにお願いをしています。

しかし、周辺地域からは「プラスチックを圧縮する際に有害物質を発生させ周辺地域に影響が出る恐れがある」という意見や町田市のごみがリサイクル文化センターで全て処理されており、分散化すべきであるという意見などがあり、現在、話し合いを続けています。

なお、市が計画している施設は、町田市が最初でありませんが、先行してプラスチックの分別収集を実施している他の自治体では同様の施設が既に稼働しており、建設中の施設も増えています。

なか、市が計画している施設は、町田市が最初でありませんが、先行してプラスチックの分別収集を実施している他の自治体では同様の施設が既に稼働しており、建設中の施設も増えています。

なか、市が計画している施設は、町田市が最初でありませんが、先行してプラスチックの分別収集を実施している他の自治体では同様の施設が既に稼働しており、建設中の施設も増えています。

プラスチックの分別収集・資源化の施策は、事業者責任による資源化を図るとともにプラスチックを燃やさないことにより、焼却炉1炉が休止でき、ダイオキシン類や地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が大幅に削減されるという大きなメリットがあり、周辺地域をターゲット的にも環境負荷を低減させることを目的としたものです。

プラスチックは燃やさずに分別資源化を早期に実施すべきだという意見はありますが、市としては、周辺地域の方々のご理解をいただいた中で施設の建設を進めていきたいと考えています。

なお、資源化とともにごみの総量を減らすことが重要で、この問題を市民全体の問題として考えていただき、減量に取り組んでいただくようお願いいたします。

中には大量のリサイクル不能な古着が混ざっています。せっかく皆さんから資源として回収したものがごみとならないように、分別のルールを守って排出して下さい。

なお、いわゆる「ボロ」はリサイクルできませんので、「燃やせるごみ」として排出して下さい。

「ウエス」↓工業用の油拭きぞうきん
「反毛材」↓わた状に加工したもので、自動車のシートや建材(断熱材、防音材)等として使用されます。

出せるもの
古着・古布全般

出せないもの
①汚れているもの(泥、油、ペンキ、カビ等)

古着のリサイクル

衣類は大事に使い、安易に捨てる前にもう一度着ることができないかを考えてみましょう。また、回収されたもの